

高松・まちづくりふれあいトーク～市民と市長の対話集会～ **第4回会議録**

日 時	平成19年7月21日(土) 午後2時00分～3時45分			
場 所	香南公民館			
出席者 (市)	市長	総務部長	企画財政部長	市民部長
	健康福祉部次長	病院部長	環境部長	産業部長
	都市整備部次長	消防局長	水道局次長	教育部長
	文化部長			
	事務局 7名			
市 民	81名			
概 要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 市長あいさつ</li> <li>3 資料等説明</li> <li>4 意見交換</li> </ol>			
意見交換				
市民	ゲートボール場として利用している、香南団地北側の公園の水道料金について、合併前は、町が水道料金を支払っていたが、合併後は、老人会が水道料金を支払っている。どうなっているのか。			
市民	元々、香南団地ができた段階では団地の所有地であり、その後、寄附採納して町有地になっている土地であり、当然、市が引き継いでいる土地であるはずだが、宙に浮いたような状態になっているのはおかしいのではないか。			
関係部長	寄附採納されて、町有地になっている土地については、当然、市有地として引き継いでいるはずであるが、ただいま、お聞きした話については、内容が分かりかねるので、後日、調査の上、回答させていただきたい。			
市長	旧町の財産台帳に登載されている土地等については、当然、市に引き継がれているはずだが、確認して後日回答する。			
事務局	すぐに、回答できない項目については、後日、支所を通じてなどで、回答させていただきたいと考えている。			
市民	企画財政部長にお聞きしますが、郷東大橋から河辺橋まで現地を視察したのか。郷東大橋から河辺橋まで、何本の橋がかかっていたと思うか。 河辺橋から城渡橋までの間、橋がないことについて、どう感じたのか。やるかやらないかではなく、橋の必要性について、どう感じたのか。			
関係部長	見てきた。 7本の橋がかかっている。			

<p>市民</p>	<p>確かに橋があれば便利であると思う。また、建設計画にも構想化しているところである。</p> <p>安全・安心の面で、香南中学校体育館沿いの車道ブロックの撤去について、4月に文書質問をして、5月に回答をもらったが、まだ工事ができていない。今年度中に対応したいとのことであるが、できるだけ早く、できれば夏休み中をお願いしたい。</p> <p>旧町時代は相談をしたら、すぐに対応してくれたが、合併してからは、お願いしても、督促されるまで、返事がこない。例えば、4月に契約手続きを行った、テニスコートの受付業務に係る委託契約書の送付と委託料の支払いがまだできていない。パソコンによる電子決裁を行っているようだが、今回の件について、市の上層部に話が伝わっていないのではないか。</p>
<p>関係部次長</p>	<p>現地確認後、担当課に状況を聞いた上で、後日回答する。</p>
<p>関係部長</p>	<p>テニスコートの契約関係については、具体的な内容について承知していないが、契約書をいただく段階でどのような話をしていたのか、いつまでに処理をするか期限の話を手相手方にしないといけないと考えているので、担当課に確認の上、対応する。また、委託料の支払いについては、電子決裁ではなく、文書の持ち回りにより決裁を行っているところであり、電子決裁だから処理が遅いということがないようにしてまいりたい。</p>
<p>市長</p>	<p>合併後においては、予算や決定権限が本庁にあるので、本庁部門との調整や協議が必要となり、どうしても時間がかかるという合併のデメリットがあるが、できるだけそういうことをなくすよう、ご意見を伺いながら、支所のあり方、情報伝達や事務の仕方、職員の意識の問題も含め、改善していきたい。</p>
<p>市民</p>	<p>住宅団地の進入路について、スピードを出した通り抜け車両が多く、交通安全面で、危険である。旧香南町時代にも要望書を出したが、結果的には地元で話をしてほしいとのことであった。今後、住宅団地の開発にあたって、十分な指導をお願いしたい。</p>
<p>関係部次長</p>	<p>開発指導の関係であるが、住宅団地の開発にあたっては、地元説明会の開催等業者に対して適切な開発指導を行ってまいりたい。また、団地の通り抜けについては、交通安全対策であるので、問題があるようでしたら、担当課（交通安全対策課）へ状況を連絡していただきたい。</p>
<p>市民</p>	<p>NPO法人の認証数の増加についてどのように考えているのか。また、NPO法人の現状と今後の方向性をどのように考えているのか。</p> <p>安全・安心なまちづくりということから、公共施設の耐震化について、どのように考えているのか。</p>

関係部長	<p>NPO法人の認証については、県が行っている。現在のNPO法人の認証数は96団体であるが、認証を受けていない地域で活動している団体（単位自治会、特定の目的のために活動しているスポーツ団体など）についても、広い意味でのNPOであるので、活性化させていくことが重要であると考えており、それがひいては、協働のまちづくり、つまり、行政とNPOが同等の立場にたつて、まちづくりを展開していくことを将来展望として持っている。</p>
市民	<p>現在、協働事業をやっているものがあるのか。</p>
関係部長	<p>具体的な事業であるが、18年度からNPOと行政との協働について、NPOがアイデアを出して、提案をしていただく事業を実施している。18年度は4事業（子育て関係、防災関係）実施した。今年度はより分野を広げて、NPOの活動分野である17分野を対象に募集したところ、7事業の提案があり、書類審査で4事業に絞り、今後、NPOのプレゼンテーションを受けた上で、最終決定することになっている。</p> <p>また、NPOに対する支援であるが、中間支援という形で、NPOが活動をしやすいようにすることが重要であるので、高松市田町に、ボランティア・市民活動センターをつくっており、そこで、NPOに対する運営の支援や相談などを行っているので、活用していただきたい。</p>
関係部次長	<p>公共施設の耐震化については、計画的に耐震診断を行っており、今後、計画に基づいて耐震化工事を進めていきたい。</p>
市民	<p>香南町は、市の南部地域で農業が盛んな地域であり、認定農業者についても31名いるが、酪農家などは後継者はいるが、耕種農家は後継者が不足している状況にある、今後とも、農業者に対する支援を引き続きお願いしたい。</p> <p>市において、農業をどのように位置付けているのか。</p>
市長	<p>・ 香南地区は、市の南部にあって、良好な田園地帯である。農業については、全国的にみても非常に厳しい状況にあるが、そういう中で、国・県の方向性を踏まえ、市としてやるべきものはきちっとやってまいりたい。できれば、香南地区・香川地区を中心に、特徴的な農業を育てていきたい。</p>
関係部長	<p>認定農業者への支援については、認定農業者連絡協議会の活動に対する補助、農地集積支援補助事業として、6年以上の農地の賃借権を設定した認定農業者へ10アールあたり5,000円の補助、農業生産施設（機械）の補助、今年度において、香南町では、認定農業者が購入するコンバイン、トラクターへの補助、大豆生産組合への補助を予算化している。</p>
市民	<p>地域婦人会への補助金について、増額をしてほしい。</p> <p>保健センターの使用について、もっと柔軟に対応してほしい。</p> <p>香南アグリームの将来について、どのように考えているのか。</p>

関係部長	<p>補助金は、市婦連に対するものである。地域婦人会に対するものは考えていない。これまで同様、いろいろな知恵を出して、運営資金の確保に努めていただきたいと考えている。</p>
市長	<p>できるだけ柔軟に対応してまいりたい。</p>
関係部次長	<p>地区社協の保健センターの利用については、調査のうえ、後日回答する。</p>
市長	<p>できる限り応援してまいりたい。</p>
市民	<p>建設計画の位置付けについて、どのように考えているのか。  市は、高松空港をどのように考えているのか。  三木綾川線バイパスルートの整備の今後の見通しについて  コンパクトシティについて、市南部にも、核となる地域について設定してほしい。  コミュニティ協議会の設立期限について、今年度内ということではなく、もう少し時間がほしい。</p>
市長	<p>建設計画に登載された事業については、誠実かつ計画的に実施してまいりたい。  公共交通のあり方を考える中で、検討してまいりたい。  6月市議会で答弁したとおり、できるだけ、県へ働きかけながら、市としても検討してまいりたい。  都市計画マスタープラン審議会に検討をお願いしているが、市中心部を「大きな核」、一宮や仏生山、合併町の中心部などを「小さな核」として、ネットワーク化してまいりたい。  コミュニティ協議会の設立については、より実質的に機能できる組織にしていだきたいので、若干の遅れは止むを得ないと考えている。</p>